

続・ふるさと

芳賀町の野仏から①

(日待ち・月待ち・神仏)

野仏も数種類に分類されるが、今回は日待ち・月待ちの野仏、なかでも月待ちの野仏について述べていきたい。

日待ちとは、特定の日に太陽の出を待つて拜む信仰で、月待ちとは、特定の月齢に月の出を待つて拜む信仰。神仏には庚申・十九夜・二十三夜・二十六夜などがある。月待ち信仰の十九夜・二十三夜・二十六夜塔は、十九夜・二十三夜・二十六夜講中などの、女人講中がそれぞれ造立したものである。地藏尊も女人講中の造立で、その信仰は、子授け・安産・子育て・婦人病の回復など女性ならではのものである。

女人講中が造立した野仏は220基以上あり、その割合は芳賀町内の野仏全体の25%を超える。女性たちが、悩みや苦しみから逃れ、心の安寧を得るために神仏にすがった信仰のあつさがうかがえる。

補足調査の折、心にとまった野仏の一つに下高根沢地内北部の二十三夜塔がある。これは土地基盤整備事業が済んだ田んぼの中、道路脇の空き地に3体ある中の1体で、自然石に勢至菩薩の種子(梵字)が刻まれた梵字碑である。この碑は、女性が横座りをしてるように見える自然石に、梵字が刻まれていることに、女性の優美さとしなやか

第53回

文・写真 大谷津忠一



▲二十三夜塔

さを感じさせる。心を込めて見ないと、石が乾燥していることもあり、見えにくいことがある。田んぼの中の道路脇にあり、通る人たちの安全と、地域に住む女性たちが健やかに生活できるように見守ってくれているようである。

現在も講中があるのかどうかは分からないが、この碑塔を見ると心が安まるのである。



しまたがしの 芳賀の自然 05



ナミアゲハ
チョウ目アゲハチョウ科
(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)

分布=日本全土(4~10月)
特徴=年に5~6回発生する。公園や家庭の花壇の日当たりの良い茂みの縁を好み、ツツジやヒガンバナなどの赤い花に集まる。
食性=カラタチやサンショウなど
大きさ=開張70~90mm(羽を広げた最大値)

編集後記

□夏本番！子どもたちは、夏休みを満喫しているのでしょうか。大人になってから「もっと有意義な夏休みを送っておけばよかった」と思うのは私だけでしょうか。

□夏休みは1カ月以上もあったのに、自分が作った日課表どおりに生活するのは、ほんの数日。宿題はというと、後半勝負。なんて無計画な子どもだったのでしょうか。

しかも、それが毎年繰り返し返されてきたとは…もったいない。

■今ごろになって「有意義な夏休みを」と話していた当時の先生の言葉が身にしみるのです。(サ)

■編集 芳賀町広報聴覚委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
📍芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

